

日本コミュニケーション学会 (CAJ)

～中部支部大会プログラム～

日時：2011年12月17日（土）13：00-19：40

場所：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

（地下鉄東山線「名古屋」駅より19分、「星ヶ丘」駅にて下車、3番出口より徒歩3分。）

教室：13A（1号館3階、エスカレーター降りてすぐ）

会費：無料

テーマ：政治・思想哲学とコミュニケーション

13：00-13：10 開会式

13：10-15：10 セッション1：基調講演

「タイトル：政治・思想哲学とコミュニケーション」（仮）

講演者：宮原 勇 先生（名古屋大学 文学研究科・文学部教授）

（休憩 20分）

15：30-16：00 セッション2：院生研究発表

「ストリートにおける性愛のポリティクス～LGBTパレードの事例から～」

報告者：高橋 芽惟（静岡県立大学 大学院 国際関係学研究科）

内容紹介：本論文では、「性的マイノリティ」と呼ばれる人々によって行われるパレードから、「本質」としての「アイデンティティ」を前提としない新たな「政治」のかたちを模索している。祝祭的雰囲気というパレードの特徴に着目することで、「公／私」、「正常／異常」の境界線が異性愛至上主義社会においてどのような条件において引かれてきたのかを考察し、それらが変化する可能性を観衆に「観られる」働きかけである点に見出している。

16:05-16:35 セッション3：書籍評論会

「エイズをめぐる偏見との闘い—世界各地のコミュニケーション政策—」

報告者：花木 亨 先生（南山大学 外国語学部 英米学科）

内容紹介：このセッションでは、アービンド・シンガル、エベレット・M・ロジャーズ（共著）、花木亨、花木由子（共訳）『エイズをめぐる偏見との闘い—世界各地のコミュニケーション政策—』（明石書店、2011年）を取り上げて議論します。まず、訳者の一人である花木亨（南山大学）が、本の内容、翻訳に至る経緯、出版社との共同作業の過程などについて報告します。続いて、参加者の皆さまとの意見交換を行ないます。

16:40-17:10 セッション4：大学教育推進プログラム（通称教育GP）の取組み紹介

静岡県立大学 国際関係学部 平成22年度 現代GP採択プログラム

「フィールドワーク型初年次教育モデルの構築」

報告者：藤巻 光浩 先生（静岡県立大学 国際関係学部）

内容紹介：このセッションでは、平成22年度文部科学省大学教育推進プログラムに採択された静岡県立大学による「国際関係学部フィールドワーク型初年時教育の構築」を紹介します。プログラム全体の取組だけでなく、報告者の担当する具体的なプロジェクトを取り上げ、その概要、ねらい、教育的効果、修正点などを報告します。フィールドワークをカリキュラムに取り入れている方たちと情報交換などもできればとも思っております。

17:10-17:20 閉会式

（移動）

17:40-19:40 頃迄 懇親会・今後の支部活動について意見交換

会場：（「星が丘」駅近辺を予定）